

### NYマーケットレポート (2015年5月18日)

NY市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、やや材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。そして、米長期債利回りが上昇したことから、日米金利差拡大を意識したドル買い・円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、米経済が1-3月の低迷から回復するとの見方が広がったことや、今週の米住宅市場や製造業関連の経済指標が改善されれば、金融当局が利上げを開始する正当性が裏付けられるとの見方を背景に、ドルは主要通貨に対して堅調な動きが続いた。一方、ギリシャの債務問題に対する先行き懸念が高まったことから、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きが続いた。

## 2015/5/18 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.75	119.77	119.34
EUR/JPY	136.40	136.96	136.25
GBP/JPY	187.82	188.28	187.50
AUD/JPY	95.74	96.09	95.64
EUR/USD	1.1392	1.1448	1.1380

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.77	119.63
EUR/JPY	136.69	136.04
GBP/JPY	187.84	187.32
AUD/JPY	95.93	95.69
EUR/USD	1.1425	1.1367

\*LD高安は東京クローズ~NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19890.27	+157.35
ハンセン指数	27591.25	-231.03
上海総合	4283.49	-25.33
韓国総合指数	2113.72	+7.22
豪ASX200	5659.17	-76.33
インドSENSEX指数	27687.30	+363.30
シンガポールST指数	3459.50	+11.58

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6968.87	+8.38
仏CAC40	5012.31	+18.49
独DAX	11594.28	+147.25
ST欧州600	398.09	+1.64
西IBX35指数	11345.00	+27.70
伊FTSE MIB指数	23198.10	-275.36
南ア 全株指数	54409.43	+381.26

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.00	120.04	119.68
EUR/JPY	135.76	136.52	135.59
GBP/JPY	187.85	188.19	187.44
AUD/JPY	95.82	96.01	95.64
NZD/JPY	88.59	88.86	88.42
EUR/USD	1.1314	1.1407	1.1298
AUD/USD	0.7984	0.8009	0.7976

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18298.88	+26.32
S&P500	2129.20	+6.47
NASDAQ	5078.44	+30.15
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	休場	
ロシアボルサ指数	45408.34	+75.54
ブラジルボベスパ指数	56204.23	-1044.40

\*カナダ市場はVictoria Dayのため休場

5/19 経済指標スケジュール	
09:00	【豪】3月コンファレンスボード景気先行指数
10:30	【豪】5月豪中銀 議事録
12:00	【NZ】2Q RBNZインフレ期待
14:30	【日】4月百貨店売上高
15:00	【欧】4月新車登録台数
17:30	【英】3月ONS住宅価格
17:30	【英】4月生産者出荷価格
17:30	【英】4月生産者仕入価格
17:30	【英】4月生産者物価指数
17:30	【英】4月消費者物価指数
17:30	【英】4月小売物価指数
17:30	【香港】4月失業率
18:00	【欧】5月ZEW景況感調査
18:00	【欧】3月貿易収支
18:00	【欧】4月消費者物価指数
18:00	【独】5月ZEW景況感調査
18:30	【南ア】1Q失業率
21:30	【米】4月住宅着工件数
21:30	【米】4月建設許可件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1227.60	+2.30
NY 原油	59.43	-0.26
CME コーン	368.00	+2.50
CBOT 大豆	954.50	+1.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.57%	0.54%
3年債	0.96%	0.90%
5年債	1.54%	1.46%
7年債	1.96%	1.87%
10年債	2.23%	2.14%
30年債	3.03%	2.93%

5/19 主要会議・講演・その他予定

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 119.68 ユーロ/円 136.51 ユーロ/ドル 1.1406

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6948.38	-12.11	ダウ 先物ミニ	18207	-22
仏 CAC40	4940.78	-53.04	S&P 500 ミニ	2114.75	-4.25
独 DAX	11414.83	-32.20	NASDAQ 100 ミニ	4474.00	-14.75

(出所: SBILM)

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18275.40	+2.84
ナスダック	5038.41	-9.88

(出所: SBILM)

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米 NAHB 住宅市場指数 54 (予想 57・前回 56)



(出所: ブルームバーグ)

## 指標結果データ

### 《NAHB 住宅市場指数》

5月・4月・3月・2月・1月・12月

住宅市場指数・・・54・・・56・・・52・・・55・・・57・・・58  
 現状指数・・・59・・・61・・・58・・・61・・・62・・・62  
 見通し指数・・・64・・・63・・・59・・・60・・・60・・・64  
 顧客動向指数・・・39・・・40・・・37・・・39・・・44・・・46

### 《海外の話題》

サウジアラビアの3月の原油輸出は2005年以来の高水準になった。サウジは世界的な需要が予想外に増加したことで、生産を記録的な水準に拡大している。サウジによる国際機関の協働データニシアチブへの報告によると、3月の原油輸出は日量789万8000バレルとなり、2月の735万バレル、1月の747万4000バレルから増加、2005年11月以来の高水準となった。

23:40

### 《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米経済への先行き期待からハイテク銘柄の一角などが物色される一方、相場への高値警戒感や、米住宅関連の経済指標が市場予想を下回ったのを嫌気した売りも出たており、主要株価は小動きの展開が続いている。ダウ平均株価は、序盤から小動きの展開が続いているものの、一時最高値を更新する動きも見られた。

### 《 経済指標のポイント 》

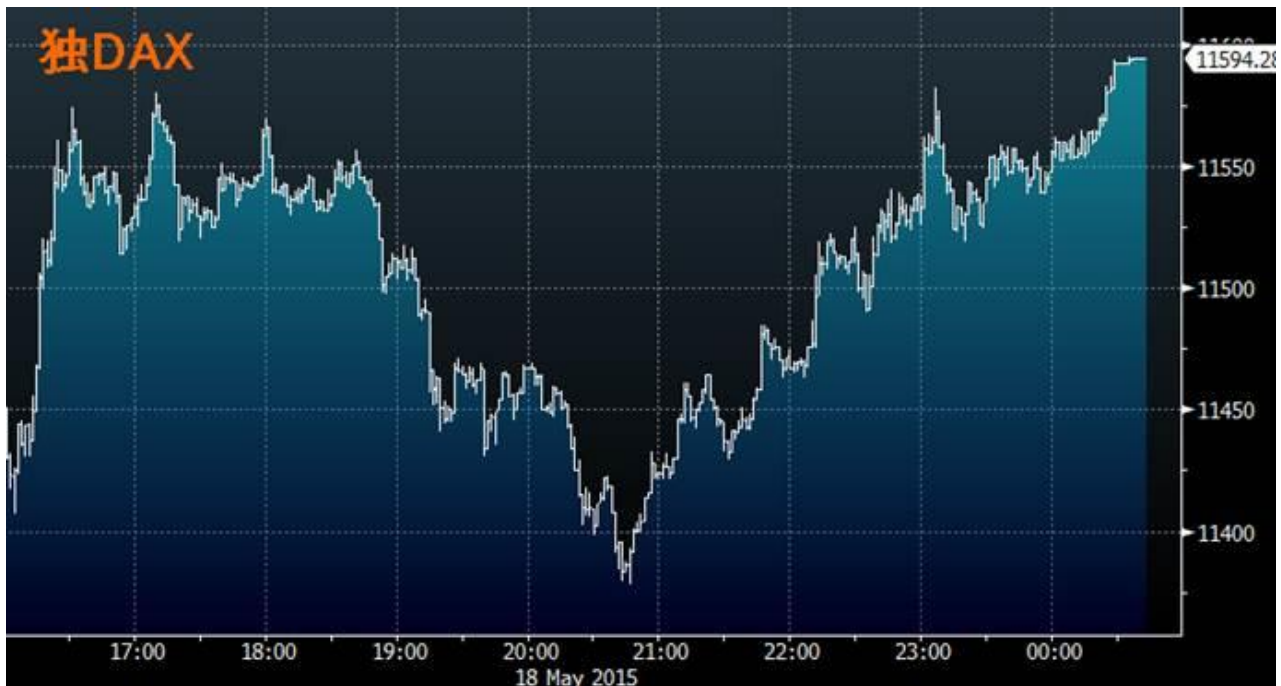
NAHB5月のNAHB（全米住宅建設業者協会）住宅建設業者指数は、市場予想の57を下回る54となり、4月の56から低下した。ただ、指数は、業況感の改善と悪化の分岐点となる50を2014年6月以来上回って推移している。構成指数では、一戸建て住宅の販売指数が59（前月の61）、潜在的な住宅購入者の動きを示す指数が39（40）と前月を下回ったものの、向こう半年の一戸建て住宅の販売指数は64（63）と上昇した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6968.87	+8.38
仏 CAC40	5012.31	+18.49
独 DAX	11594.28	+147.25
ストック欧州 600 指数	398.09	+1.64
ユーロファースト 300 指数	1579.92	+6.83
スペイン IBEX35 指数	11345.00	+27.70
イタリア FTSE MIB 指数	23198.10	-275.36
南ア アフリカ全株指数	54409.43	+381.26

(出所: SBILM)

### 《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、ギリシャ債務問題をめぐる交渉の行方をにらみながら神経質な取引が続き、主要株価は小幅反発となった。



(出所：ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 18285.77 (+13.21)、S&P500 2127.62 (+4.89) ナスダック 5067.73 (+19.43)

#### 《欧州のポイント》

①スウェーデン中銀のインゲベス総裁は、通貨クローナのレートを当面現在とほぼ同じ水準で推移させることが重要だとの見方を示した。総裁は金融政策会合での演説で「クローナ相場が過度に急上昇しないことが重要だ」と表明。さらに、必要であれば政策金利を現在の-0.25%から引き下げる可能性もあると示唆した。中銀は4月29日、インフレは底打ちしたとして、市場の利下げ予想に反し政策金利を据え置いた。だが、4月の消費者物価指数は予想に反して低下した。

②イタリア国家統計局が公表した貿易収支統計では、3月の貿易黒字が40億6000万ユーロとなり、前年同月の38億4200万ユーロから拡大した。EU加盟国との貿易黒字は4億8700万ユーロで、前年同月の11億3700万ユーロから減少した。

③6月5日のIMFへの返済が困難との見方からギリシャ国債が売られているが、ギリシャの政府報道官は、政府職員の今月の給与や年金の支払いは可能だが、月末までに債権者と合意する必要があると述べた。報道官は会見で「今月中に流動性問題の解決策が見つかるだろう」と述べた。銀行口座の預金を差し押さえる可能性については否定し、3回目の金融支援を受け入れるつもりはないとした。

#### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、前週末に大幅上昇した反動で、一旦利益を確定する売りが先行した。5月NAHBの住宅市場指数が市場予想に反して悪化したものの、反応は限定的だった。

午前の利回りは、30年債が3.02%（前週末2.94%）、10年債が2.22%（2.15%）、7年債が1.94%（1.88%）、5年債が1.52%（1.46%）、3年債が0.94%（0.90%）、2年債が0.56%（0.54%）。

1 : 55

◀ 要人発言 ▶

チプラス・ギリシャ首相

- ・「ギリシャ債務再編が解決策に含まれるべきだ」
- ・「救済合意には年金・賃金削減は含まれるべきではない」

3 : 30

NY金は、中心限月が前日比 2.30 ドル高の 1 オンス=1227.60 ドルで取引を終了した。

4 : 35

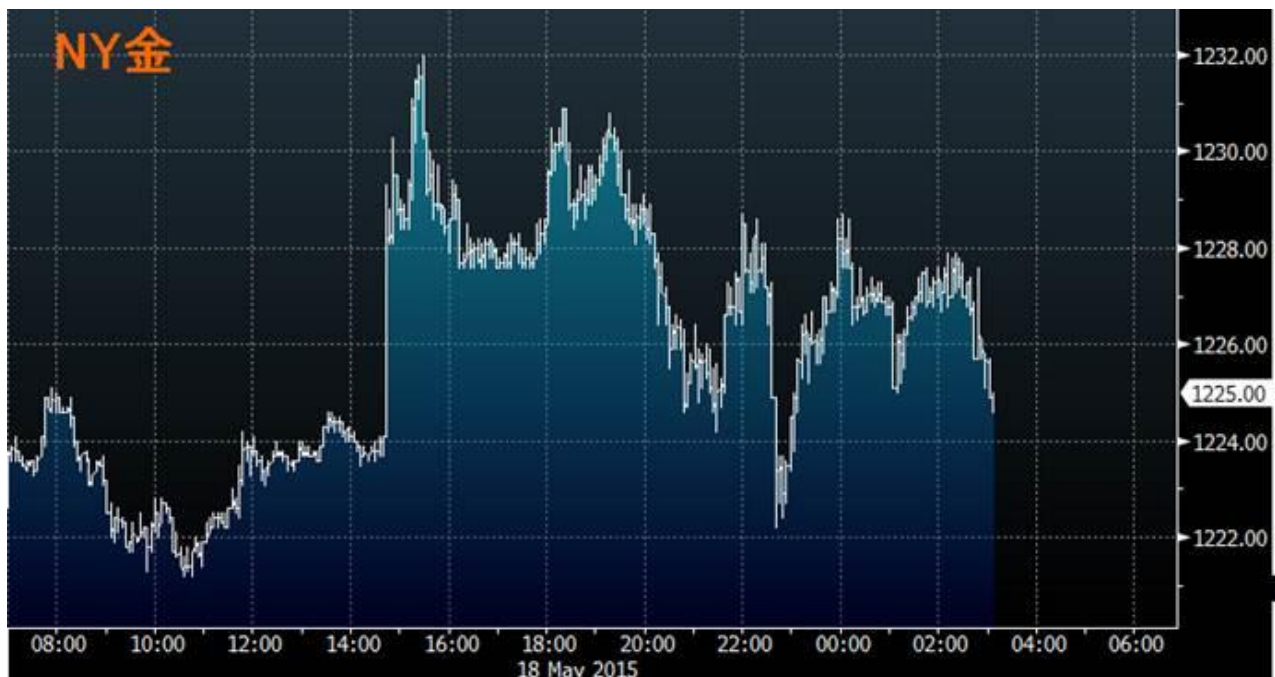
NY原油は、中心限月が前日比 0.26 ドル安の 1 バレル=59.43 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1227.60	+2.30
NY 原油	59.43	-0.26

(出所:SBILM)

◀ NY金市場 ▶

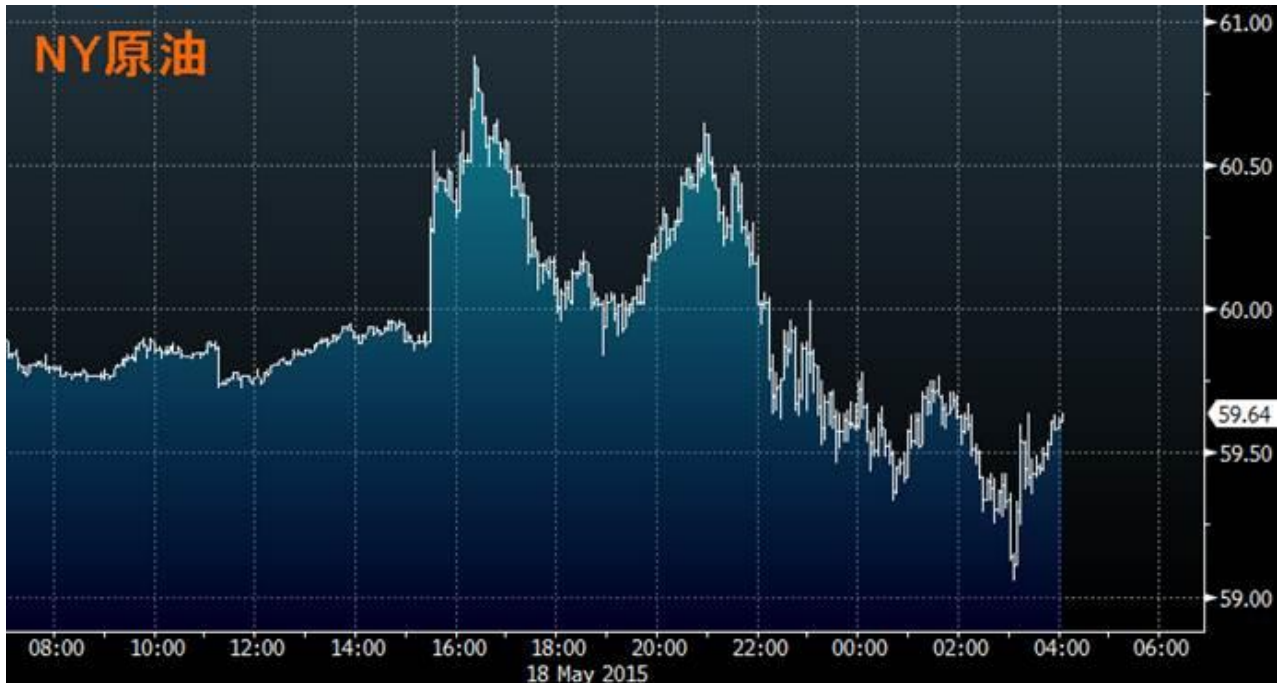
NY金は、最近発表された米国の経済指標が低調なことから、米利上げが先送りされるとの見方が強まったことから、金を買う動きが優勢となった。また、ギリシャ債務問題の先行き懸念も支援材料となった。終値ベースでは、2月10日以来、約3ヵ月半ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

## ◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、序盤は、イエメン空爆再開などで中東情勢の混乱を背景に、堅調な動きが見られたものの、ドルが主要通貨に対して上昇したことで、ドル建ての原油の割高感から軟調な動きとなった。



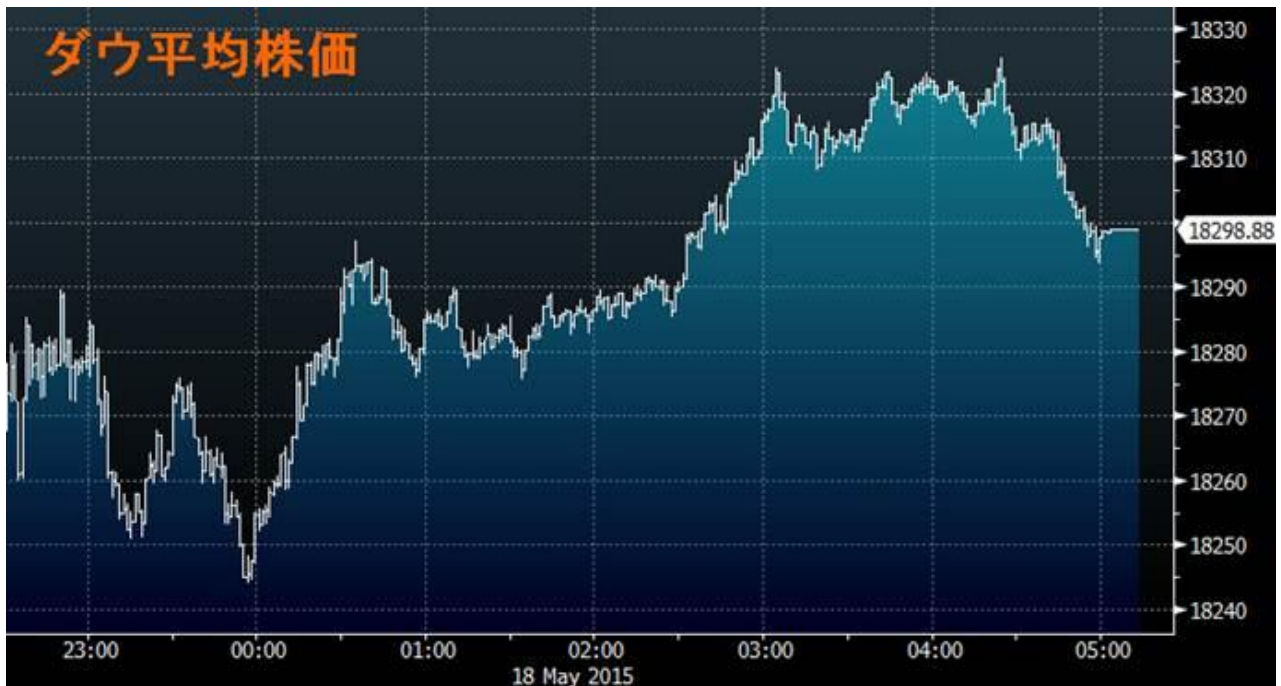
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18298.88	+26.32	18325.54	18244.26
S&P500 種	2129.20	+6.47	2131.78	2120.01
ナスダック	5078.44	+30.15	5084.50	5037.54

(出所：SBILM)

## ◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米経済への先行き期待からハイテク銘柄の一角などが買われる一方、相場への高値警戒感や、米住宅関連の経済指標が市場予想を下回ったのを嫌気した売りも出ており、主要株価は序盤から小動きの展開が続いた。ただ、午後には入ると、小動きながら堅調な動きが終盤まで続いた。ダウ平均株価は、序盤やや上値の重い動きが続いたものの、午後には堅調な動きとなり、終盤には一時前週末比 52 ドル高まで上昇し、最高値を更新する動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.00	120.04	119.68
EUR/JPY	135.76	136.52	135.59
GBP/JPY	187.85	188.19	187.44
AUD/JPY	95.82	96.01	95.64
NZD/JPY	88.59	88.86	88.42
EUR/USD	1.1314	1.1407	1.1298
AUD/USD	0.7984	0.8009	0.7976

(出所：SBILM)

#### 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、ドル円・クロス円は小動きの展開が始まった。米長期債利回りが上昇したことを受けて、ドル買い円売りが優勢となり、ドル/円は堅調な動きとなった。また、堅調な株価動向を背景に、クロス円も小動きながら上昇したものの、ユーロはギリシャ支援問題の先行き懸念から主要通貨に対して上値の重い展開が続いた。



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。